

核兵器使用示唆に抗議

ロシア・プーチン大統領宛に本日、文書を送付

市は、ロシアがウクライナへの軍事的侵攻を行い、核兵器の使用を示唆したことについて、プーチン大統領宛の抗議文をロシア大使館へ3月3日付で郵送した。文書は市長名で、府内初の非核平和宣言都市として、人々の尊い命と平和な暮らしを奪う行為を直ちに中止するとともに、一日も早い平和的解決を求めるもの。

★市は、これまでも世界中で核実験の実施が確認されれば、即時に実施国に対し抗議文を送付している。核実験に対する抗議は2021年1月以来で、核兵器使用を示唆したことへの抗議は初となる。

★本市は、1982年に府内で初めて「非核平和都市」を宣言した自治体であり、また、日本非核宣言自治体協議会の副会長市でもある。

★送付した抗議文は別紙のとおり。

<お問い合わせ>

市長公室 人権政策室 ☎072-841-1259、ファクス 072-841-1700

抗議文

2022年3月3日

在本邦ロシア連邦大使館気付

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

日本国 大阪府 枚方市長 伏見 隆

貴国がウクライナ侵攻を行い核兵器の使用を示唆した、一連の行為については、多くの市民が犠牲となるとともに、国際社会の平和と秩序を脅かすものであり、非核平和宣言都市として核兵器の廃絶を訴える本市としては、強い憤りを感じています。

貴国の行為は、人類の生存を脅かす核の悲劇を二度と起こしてはならないと懸命に訴えてきた、世界で唯一の戦争被ばく国の切なる思いを踏みにじるものであり、強く抗議いたします。

人々の尊い命と平和な暮らしを奪う行為を直ちに中止するとともに、一日も早く平和的解決を図られるよう強く求めます。